

秦野さんぽ

秦野を散歩して再発見するマガジン

2010
VOL.23

一般社団法人
野市観光協会

- 〒257-0045
神奈川県秦野市桜町1-4-1
TEL.0463-82-8833
●インターネットホームページ
<http://www.kankou-hadano.org/>

矢倉沢往還を訪ねる三回目は、秦野橋から大井町を通り、松田町方面へ、矢倉沢往還や小田原道などの古道を辿ります。そして路傍に残る史跡などをしながら、歩いてみたいと思います。

古道を歩く 矢倉沢往還と 小田原道

お地蔵さまか、道を迷ろうとする
現代の我々を導いてくれているよ
うに感じられました。

スタートは、秦野橋から、お地
蔵様、道祖神を探しながら、歩き
ます。最初は住宅街ですが、少し
先から旧246号を歩きます。車
の通りが多く、歩道がないので、
注意してください。

秦野市立南中学校の近く、みど
り幼稚園に隣接して矢倉沢往還を
案内する石碑があります。古道の
解説とともに、今泉村（現在の今
泉周辺）が描かれています。これ
がどこを描いたものかを、地図を
見ながら推測するのも面白いと思

また住宅街となり、その先のT字路を左に曲がると、地元の新鮮野菜が購入できる「じばさんず」が見えます。敷地内には秦野煙草音頭の石碑や秦野たばこの技術改良と生産向上の功労者、関野作次郎の碑があり、「JAはだの」の本所の入口には報徳思想を広めた安居院庄七の碑があります。

自然豊かな秦野は、神奈川県唯一の盆地であり、その地形から様々な野菜が栽培でき、四季折々新鮮な野菜を収穫しています。ハイキングでなければ、新鮮な野菜を購入して帰りたいところです。

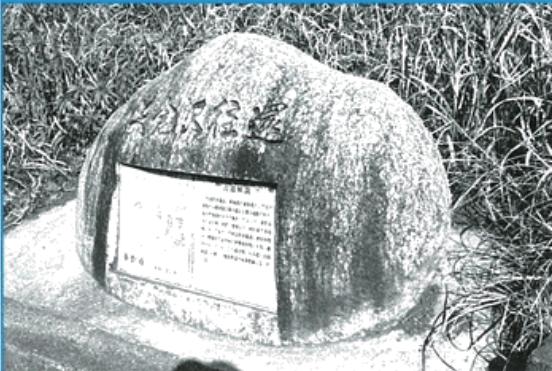
ここから、渋沢駅方面に向かいいます。「じばさんず」から約三

喜叟寺の境内には手入れの行き届いた梅の古木があります。本堂は少ないものの、満開になるといふに漂う梅の香りが印象的です。入口付近にはお地蔵さんと文政2年に作られた、道標があります。喜叟寺からさらに上へ、渋沢駅方面に坂を登り、先ほどの車道に戻ります。100mくらいで、左手の細い道を入ります。徐々に傾斜がきつくなる坂道を進むと、右手に祠が見えます。祠に向こうには、表丹沢のやまなや、秦野市街が一望できます。

祭が差こみの進し道神8境数

岐地区は、戦時中、石膏や黄鉱を産出し、多い時では約二千人の労働者がいたとも言われています。少し離れた所には、今でも掘跡の穴が残っています。

—秦野の昔にタイムスリップ—



矢倉沢往還を
案内する道標



道標に描かれて
いる昔の風景
「相中留國記略上」



鈴張町の道祖神

保健福祉センターを過ぎ、Y字路を右へ。分岐には、真新しい道祖神があります。周りはきれいな様子から、古い道祖神を作り直したもののようにです。

ふと振り返れば
懐かしい風景に出会う
そんな秦野の昔を訪ねて

しながら、ゆつくりと歩くのもいいでしよう。

左、右と曲がり、少し行くと又路付近の右手の藪の中に祠と念佛供養塔があります。念佛供養塔の右側面には「小田原」の文字が見え、この辺りを街道筋が通っています。祠がわかります。しかし道標の案内が左右逆、実際は左が小田原方面なのに、右が小田原となっています。祠を移動したのか、道が変わったのか、または両方なのか。祠の存在が、私たちの想像力を掻き立てる貴重な存在となっています。

祠の前を左に進むのも街道筋ですが、今回は峠の配水場を左手に見ながら舗装された道を歩きます。緩やかな下り坂を歩くと、視界が開け、畑が一面に広がります。今回は一度、道を下り、峠地区を巡りますが、このまままっすぐ、見晴らしの良い街道筋を歩き、眺望を楽しむのもルートの一つです。

峠地区から

大井町、松田町へ

道を下り、県道を渡ると左手の畠の向こうに水神様があります。近くの澄んだ小川には、セリやクレソンが自生しています。小川に沿って南へ進むと、峠の湧水です。道の反対側、バスの折り返し場の脇には、湧水によつて、湿地状になつている場所もあり、この地区が水の豊富な地域であることがわかります。

バスの折り返し場の少し先に、六地蔵があります。六地蔵を祀つていた真静院は、平成13年の火災で焼失していますが、その敷地の跡の片隅に六地蔵が残されています。年号銘のあるお地蔵様では、市内最古のもので、室町時代初期に造られたものです。

護するように神明神社が鎮座しています。脇の坂道を上かり、県道を少しほど戻るところの地区を守っています。年号銘のあるお地蔵様では、市内最古のもので、室町時代初期に造られたものです。

右手に入り、畑の間の細い坂道を登ります。登りきったところが、先ほどまで歩いてきた街道筋—小田原道です。木々に間まれた、まさに古道といつた趣の道を歩いて行くと、右手に富士山、そしてその手前には矢倉沢往還の名前の由来となつた矢倉沢を抱く、矢倉岳も見えます。

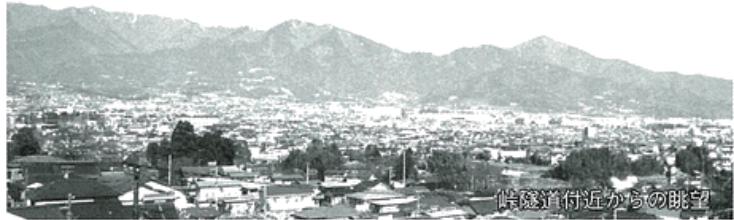
自然豊かな道が続き、しばらくすると木陰には小さな祠があります。祠の先には右手に富士山、左手に大山と視界の開けた絶景ポイントがあります。歩道がありますので、車に注意が必要です。水神様を左手に見たところで、右に上り出ます。この辺りを小田原道が通つていています。

車に注意が必要です。水神様を左手に見たところで、右に上り出ます。この辺りを小田原道が通つていています。

【下段へつづく】

Let's Go! 散歩 第23回

秦野の古道「矢倉沢往還」を歩いてみよう —秦野駅から峠地区、そして大井・松田方面へ—



峠越道付近からの眺望

喜叟寺（きそうじ）
今から800年前、源実朝に仕えていた人が開いたお寺。昔は、徳の高い貴僧と呼ばれる僧がいたため、貴僧寺とされていたそうです。



山間に見える大山



三島神社
至 御殿場
延命寺
新松田駅
至 秦野中井



協力：秦野市観光ボランティアの会
・歩行時間 4時間15分
・歩行距離 約14km



安居院庄七の歌碑
安居院庄七は秦野の養毛出身で、二宮の思想に基づく報徳運動の契機を作りました。その中で人づくりの基本的なことをうたつたものです。



峠の湧水
峠のバス停そばにある湧水。近くの清流にはセリやクレソンも自生。ハイカーや地元住民の喉を潤しています。



富士見塚
矢倉沢往還の一里塚であったと思われる場所。海拔250m程の丘陵にあり、富士の素晴らしい眺めが楽しめます。

かつて、源頼朝が、富士で巻狩りをする際に立ち寄ったといふ伝説もあります。

雑木林の間、登り下りが続きます。昔の人は、水の出る窪地ではなく、できるだけ安全な道を通つたのだろうと、考えながら歩いていると、シイの木に囲まれた神社、三島神社に到着します。神社周辺のシイの木は大きめで、源頼朝が、富士で巻狩りをする際に立ち寄ったといふ伝説もあります。

神社前の県道を登ると、富士見塚です。源頼朝が訪れたという話の伝わる場所で、箱根の山々と富士山が一望できます。富士見塚の脇を松田町方面に下り、一度、車道を通り、また右手のミカン畑の間の道に入ります。細い道を抜けると、左にお堂、右に神山神社があります。車通りの多い県道77号線を横断、東名高速道路の高架下を進み、籠場橋を渡ります。橋の向こうには一群の道標、石仏があり、周辺の道祖神やお地蔵さまを集めましたものと思われます。

県道を600m→700mくらい進み、延命寺前の信号を左に行くと、小田急線の新松田駅です。矢倉沢往還は、まだ続きますが、今回のコースはここまでになります。これまで、「秦野さんぽ」で3回にわたって、矢倉沢往還を案内しました。紹介させていただいたコースは、伊勢原市から秦野市、大井町、松田町と2市2町にまたがる、歴史あります。自然ありの壮大なコースです。是非、一度歩いて見てみてください。



富士見塚

